

エコアクション21

環境活動レポート



平成 21 年 3 月 1 日

・・・環境問題を皆で理解し広めよう・・・

不二高圧株式会社

【環境方針】

「基本理念」

当社は、エコアクション21の趣旨を尊重し、高圧ガスの容器及び施設の検査、並びに設計施工の事業活動において、「二酸化炭素及び廃棄物の排出並びに水の使用量を削減し、自然環境への負荷を低減する」ことに努め、環境保全に積極的に取り組み、循環型社会の構築に参加します。

「行動指針」

環境経営システムの運用にあたり、主要事項を次のとおり示す。

- 1) 高圧ガスの容器及び施設の検査、並びに設計、施工業務において、公共の安全を確保すると共に「省資源、省エネルギー、リデュース、リユース、リサイクル」を常に実行推進する。
- 2) 取り組みを適切に実行するため、関連法規及び地域の条例を遵守し、環境問題及び取り組み方法等について、全社員に教育訓練を行い周知徹底する。
- 3) 業務活動で必要な資機材は「グリーン購入法」を優先して選択購入する。
- 4) 行政、地域及び利害関係者等との交流を深め、情報交換、協力活動、その他取り組みの拡大に務める。
- 5) 環境活動レポートは公開し、クレーム及び緊急時に備えて対応処置の確立と方法について訓練を行う。

制定年月日 平成19年7月25日

不二高圧株式会社

代表取締役社長 新井二郎

【事業の概要・実施体制】

1. 事業所名及び代表者名

- ・社名 不二高压株式会社
- ・代表者 代表取締役会長 松浦 紀久郎
代表取締役社長 新井 二郎

2. 事業所所在地

- 〒421-0218 静岡県焼津市下江留437番地の16
(市町村合併により 平成20年11月1日 地名変更)
TEL・054-622-1120(代) FAX・054-622-3487
(本店・・・登記簿記載上の所在地で、実際の事業活動を行っていない。)
〒426-0036 静岡県藤枝市上青島147番地の3 TEL・054-641-1180

3. 環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

- ・環境管理責任者 松浦 紀久郎
- ・環境担当責任者 村越 睦明 ・受付事務担当者 石田 文子
連絡先 TEL・054-622-1120(代)
FAX・054-622-3487
<http://www.zz-fujikoatsu.co.jp/>
E-mail・zz-jj@po4.across.or.jp

4. 事業の内容

- 1・「容器検査部」 高压ガス容器の再検査（自社内業務）
液化石油ガス・タンクローリ用容器の法定再検査の施行。
- 2・「工事部」 高压ガス設備の検査及び設計施工（客先出張現場施行）
高压ガス設備の法定検査、（貯槽、配管、機械精密検査）定期点検の施行。
事業所の保安検査、設備の修理、管工事業、機械設置工事業の施行。

5. 事業の規模

- ・法人設立 昭和45年 7月23日（創立 昭和40年1月）
- ・資本金 1,000万円
- ・決算期 期首 7月1日 期末 6月30日
- ・従業員 37人
- ・敷地面積 14,321 m²
- ・床面積 容器検査工場 900.49 m²・タンクローリ 440.15 m²・倉庫 153 m²
事務所 335.24 m²・休憩室 105 m²・

6. 活動規模

① 売上

項目	単位	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
総売上高	百万円	7 2 4	6 3 5	7 2 2
容器検査部	百万円	2 6 4	1 9 8	1 6 7
工 事 部	百万円	4 6 0	4 3 7	5 5 5

② 設備等の状況

・「容器検査部」

定置検査設備一式 (残ガス回収、耐圧検査、塗装他) 小型 350 本/日
車 両 (台) 7t 車 1・ 4t 車 2・ 3t 車 1・ 営業車 3・ リフト 1

・「工事部」

移動検査機器一式 (非破壊検査機器他 KHK 基準検査設備) 3 セット
設計施工関係 (キャド等ソフト機器、資材加工機器) 1 式
車 両 (台) 検査専用バン 4・ 営業車 3

7. 資格 (許認可・登録)

「容器検査部関係」

- ・ 容器検査所の登録 : 静岡県 平・18・10・1 防消防第 44 号の 5
(50,000・以下の液石及び液化天然ガス溶接容器で、TP 5 Mpa 以下)
- ・ 高圧ガス製造許可 : 静岡県 昭・56・1・16 消第 88-10 号
- ・ 液化石油ガスタンクローリ検査事業者認定 : (高圧ガス保安協会 K T - 3)

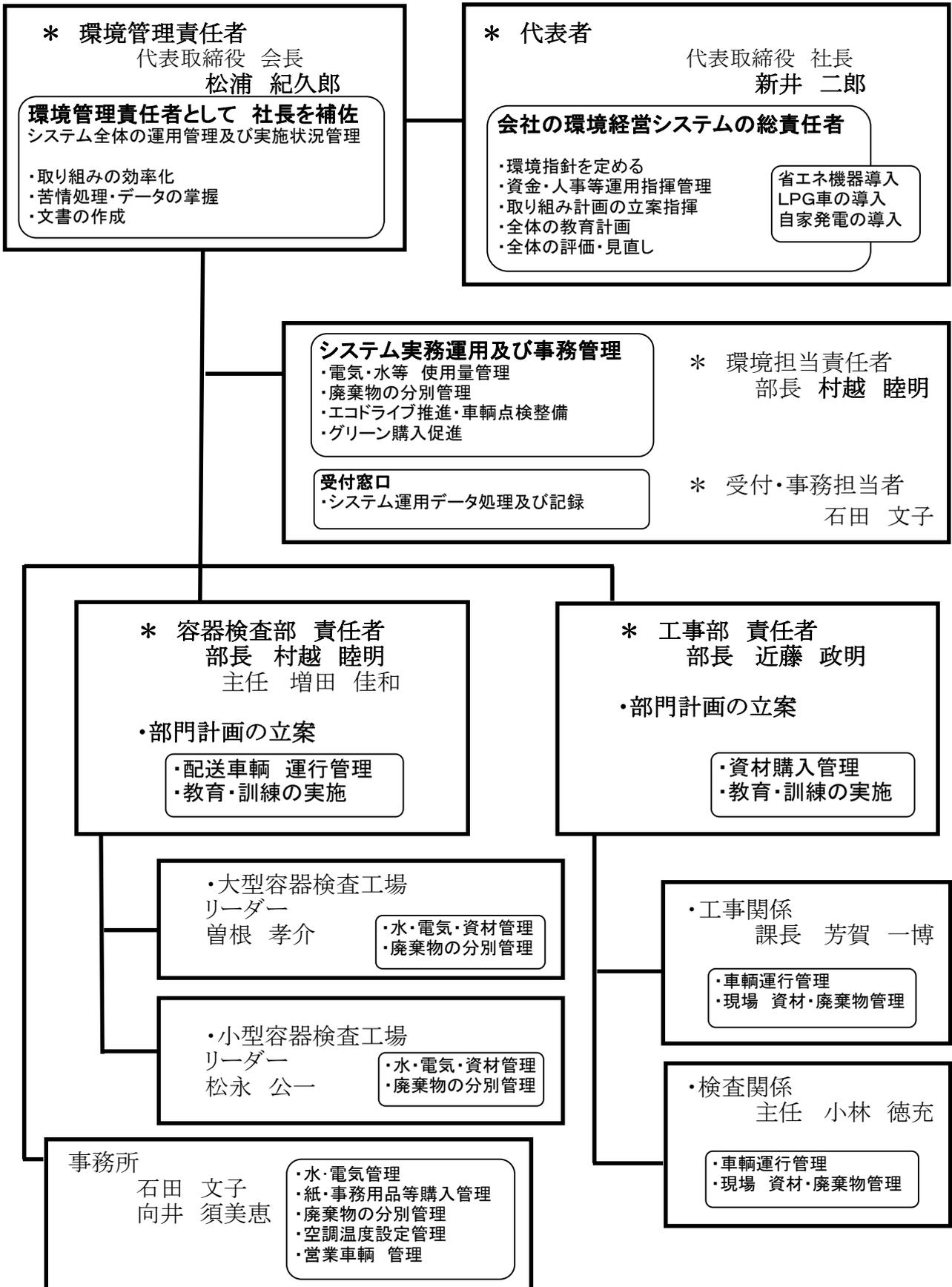
「工事部関係」

- ・ 液化石油ガスプラント検査事業者認定 : (高圧ガス保安協会 K P - 1 8)
- ・ 指定保安検査機関の指定 : (経済産業省) 平成 18.01.27 原第 21 号)
- ・ 指定保安検査機関の業務規定認可 : (経済産業省) 平成 18.01.30 原第 2 号)
- ・ 建設業の許可 (管、機械設置工事) : 静岡県般-17 第 9549 号平 17 年 11 月
- ・ 特定液化石油ガス設備工事事業開始届け : 昭・60・2・15 静岡県 1427

- ・ エコアクション 21 認証・登録番号 0002362
- ・ 産業廃棄物収集運搬業許可 第 143883 号 (静岡県・静岡市・浜松市)

8. 環境経営システムの組織図

実施体制



【具体的な環境活動計画】

容器検査部

責任者

「二酸化炭素排出の削減」

1 電気の使用量削減

- ① 不要電力のカット 工場・倉庫
照明・換気扇・電動機・電道工具・外灯の全電源

曾根孝介、松永公一

- ② 省エネルギー
省エネ機器の購入・自家発電

村越睦明

2 燃料の使用量削減

- ① エコドライブの周知徹底と実行
② 車両の効率的運行及び車両整備
③ 消費燃料の状況把握

村越睦明

村越睦明、増田佳和

石田文子

「水の使用量削減」

- ① 節水
検査用水
洗車用水
② 水漏れチェック
③ 雨水の利用・検査用水のリサイクル

鈴木千秋

村越睦明

増田 佳和

曾根孝介、松永公一

「廃棄物排出量の削減及びリサイクルの推進」

廃材の分別、リサイクル、リユース、リデュース

- ① 残資材、缶、瓶、紙の分別の徹底
② マニフェスト管理

曾根孝介、松永公一

村越睦明

「グリーン購入法の優先的活用」

村越睦明

工事部（社外作業）

「二酸化炭素排出の削減」

1 電気の使用量削減

- ① 不要電力のカット 倉庫・工事現場
照明・電動機・電道工具

芳賀一博、小林徳充

2 燃料の使用量削減

- ① エコドライブの周知徹底と実行
② 車両の効率的運行及び車両整備
③ 消費燃料の状況把握

村越睦明

芳賀一博

石田文子

工事部（社外作業）

「水の使用量削減」

① 節水

洗車用水

芳賀一博、小林徳充

「廃棄物排出量の削減及びリサイクルの推進」

廃材の分別、リサイクル、リユース、リデュース

① 残資材、缶、瓶、紙の分別の徹底

芳賀一博、小林徳充

② マニフェスト管理

近藤政明

「グリーン購入法の優先的活用」

近藤政明

事務所

「二酸化炭素排出の削減」

1 電気の使用量削減

① 不要電力のカット 事務所 休憩室

照明・換気扇・テレビ等電源管理

向井須美恵

空調機フィルター清掃

村越睦明

② 省エネルギー

冷暖房の室温管理（冬・21℃、夏・25℃）

向井須美恵

2 燃料の使用量削減

① エコドライブの周知徹底と実行

村越睦明

② 車両の効率的運行及び車両整備

村越睦明、増田佳和

③ LPG車の導入、バイオ燃料の取り入れ

新井二郎、村越睦明

④ 消費燃料の状況把握

石田文子

「水の使用量削減」

① 節水

事務所、休憩室、花壇散水

向井須美恵

② 水漏れチェック

村越睦明

③ 雨水の利用

松浦紀久郎

「廃棄物排出量の削減及びリサイクルの推進」

廃材の分別、リサイクル、リユース、リデュース

① 残資材、缶、瓶、紙の分別の徹底

向井須美恵

② コピー用紙の両面使用

向井須美恵

「グリーン購入法の優先的活用」

事務所での必要資材

向井須美恵

【 環境活動の取組計画 】

平成 20 年度

社 長	環境責任者	部 長	部 長	担 当 者
/	/	/	/	/

容器検査部

取 組 項 目		取 組 計 画												
		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
1. 電気使用量の削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
* 照明灯管理	工場	曾根												
		松永												
* 圧縮機の運転	工場	松永	担当者 打ち合わせ											
* 搬送コンベアー			担当者 打ち合わせ											
* ショットブラスト			担当者 打ち合わせ											
* 真空ポンプ			担当者 打ち合わせ											
2. 化石エネルギーの削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
* 運転計画の合理化	配送	村越	車両別集計											
* エコ運転の実施	通勤時	村越	車両別集計											
・過積載禁止		村越	通勤経路 確認			安全運転コンクール			安全運転コンクール					
* 車輛整備		村越												
3. 廃棄物の抑制		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
* 排出量の削減	工場	曾根	分別ポスター掲示											
		松永	分別ポスター掲示											
* 生産資材の節約	工場	村越					在庫確認						在庫確認	
4. グリーン購入品目の活用		村越	検討											
5. リサイクルの推進		村越	分別ポスター掲示											
6. 廃棄物処理の確認		村越	分別ポスター掲示											
7. 総排水量の削減		工場	曾根											
	松永													

工事部 (社外作業)

取 組 項 目		取 組 計 画												
		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
1. 電気使用量の削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
* 照明	工事部	芳賀												
* 電動機・電動工具		小林												
2. 化石エネルギーの削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
* 運転計画の合理化	工事部	近藤	車両別集計											
* エコ運転の実施	工事部	芳賀												
・アイドリング抑制		小林												
* 車輛整備	工事部	芳賀												
3. 廃棄物の抑制		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
* 排出量の削減	工事部	芳賀	分別ポスター掲示											
		小林	分別ポスター掲示											
* 生産資材の節約	工事部	近藤			合同購入の検討	在庫確認							在庫確認	
4. グリーン購入品目の活用		近藤	検討											
5. リサイクルの推進		近藤	分別ポスター掲示											
6. 廃棄物処理の確認		近藤	分別ポスター掲示											

事務所

取 組 項 目		取 組 計 画												
		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
1. 電気使用量の削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
* 空調 温度設定	事務所	向井	25度に設定・管理					21度に設定・管理						
* 照明 (テレビ)		鈴木	25度に設定・管理					22度に設定・管理						
		喫煙室	増田	25度に設定・管理					23度に設定・管理					
2. 化石エネルギーの削減		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
* エコ運転の実施	事務	石田	車両別集計									安全運転コンクール		
* エコ運転の実施	通勤時	村越	通勤経路 確認			安全運転コンクール								
* 車輛整備		村越												
3. 廃棄物の抑制		担当者	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
* 排出量の削減	事務所	向井	分別ポスター掲示											
* 生産資材の節約		向井	エコ文具 検討				在庫確認							在庫確認
4. グリーン購入品目の活用		向井	エコ文具 検討											
5. リサイクルの推進		向井	分別ポスター掲示											
6. 廃棄物処理の確認		石田	分別ポスター掲示											
7. 総排水量の削減		村越	漏水点検			チェックシール掲示								

【中・長期環境目標】

総 合

(容器検査部・工事部・事務所)

平成19年度(H19/7～H20/6)～平成21年度

① 二酸化炭素排出量 (目標設定は平成18年度実績を基準=100%とする)

項 目		平成18年度 実績	平成19年度 目標	平成20年度 目標	平成21年度 目標
二酸化炭素排出量		599,365.3	569,397.0	563,403.4	557,409.7
kg-CO2					
%		100.0	95.0	94.0	93.0
購入電力	消費量 kwh	144,191.0	136,981.5	135,539.5	134,097.6
	%	100.0	95.0	94.0	93.0
	排出量	54,504.2	51,779.0	51,233.9	50,688.9
%		100.0	95.0	94.0	93.0
液化石油ガス LPG車両用	消費量 kg	1,054.7	2,003.9	1,993.4	1,982.8
	%	100.0	190.0	189.0	188.0
	排出量	3,166.2	601,572.3	598,406.1	595,240.0
%		100.0	190.0	189.0	188.0
ガソリン	消費量 L	10,329.4	9,296.5	9,193.2	9,089.9
	%	100.0	90.0	89.0	88.0
	排出量	23,981.4	21,583.3	21,343.4	21,103.6
%		100.0	90.0	89.0	88.0
軽油	消費量 L	33,909.2	32,213.7	31,874.6	31,535.6
	%	100.0	95.0	94.0	93.0
	排出量	88,989.3	84,539.8	83,649.9	82,760.0
%		100.0	95.0	94.0	93.0
残ガス燃焼	燃焼量 kg	98,800.0	88,920.0	83,980.0	79,040.0
	%	100.0	90.0	85.0	80.0
	排出量	296,593.6	266,934.2	252,104.6	237,274.9
%		100.0	90.0	85.0	80.0

② 廃棄物排出量 (目標設定は平成18年度実績を基準=100%とする)

項 目		平成18年度 実績	平成19年度 目標	平成20年度 目標	平成21年度 目標
単純焼却 廃棄物	t	4.74	4.50	4.46	4.41
	%	100.0	95.0	94.0	93.0

③ 総水使用量 (目標設定は平成18年度実績を基準=100%とする)

項 目		平成18年度 実績	平成19年度 目標	平成20年度 目標	平成21年度 目標
上水使用量	m ³	659.0	626.05	619.46	612.87
	%	100.0	95.0	94.0	93.0
地下水使用量	m ³	6,866.0	6,522.70	6,454.04	6,385.38
	%	100.0	95.0	94.0	93.0

【短期環境目標と実績・評価】

平成19年度

総合

(容器検査部・工事部・事務所)

① 二酸化炭素排出量 (目標設定は平成18年実績を基準=100%とする)

項目		平成18年度 実績	平成19年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
二酸化炭素排出量		598,928.6	568,982.2	491,148.2	○
kg-CO2 %		100.0	95.0	82.0	
購入電力	消費量 kwh	144,191.0	136,981.5	134,993.0	○
	%	100.0	95.0	93.6	
	排出量	54,504.2	51,779.0	51,027.4	
	%	100.0	95.0	93.6	
液化石油ガス LPG炉外用	消費量 kg	645.0	612.8	277.0	○
	%	100.0	95.0	42.9	
	排出量	1,936.3	1,839.5	831.5	
	%	100.0	95.0	42.9	
液化石油ガス LPG車両用	消費量 kg	909.2	863.8	2,157.7	×
	%	100.0	95.0	237.3	
	排出量	2,729.4	5,185.9	6,477.4	
	%	100.0	190.0	237.3	
ガソリン	消費量 L	10,329.4	9,296.5	7,142.6	○
	%	100.0	90.0	69.1	
	排出量	23,981.4	21,583.3	16,582.8	
	%	100.0	90.0	69.1	
軽油	消費量 L	33,909.2	32,213.7	34,192.6	×
	%	100.0	95.0	100.8	
	排出量	88,989.3	84,539.8	89,733.0	
	%	100.0	95.0	100.8	
残ガス燃焼	燃焼量 kg	98,800.0	88,920.0	67,700.0	○
	%	100.0	90.0	68.5	
	排出量	29,659.4	26,693.5	20,323.3	
	%	100.0	90.0	68.5	

② 廃棄物排出量 (目標設定は平成18年実績を基準=100%とする)

項目		平成18年度 実績	平成19年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
単純焼却	t	4.74	4.50	4.62	×
廃棄物	%	100.0	95.0	97.5	

* 単純焼却の廃棄物には、工場から出る塗料カス(産廃)を含む。

③ 総水使用量 (目標設定は平成18年実績を基準=100%とする)

項目		平成18年度 実績	平成19年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
上水使用量	m ³	695.0	660.3	715.0	×
	%	100.0	95.0	102.9	
地下水使用量	m ³	6,866.0	6,522.7	4,145.0	○
	%	100.0	95.0	60.4	

【短期環境目標と実績・評価】

平成19年度

容器検査部

① 二酸化炭素排出量（目標設定は平成18年実績を基準＝100%とする）

項目	平成18年度 実績	平成19年度		評価 (達成○・不可×)
		目標	実績	
二酸化炭素排出量	420,072.0	399,068.4	317,721.2	○
kg-CO2 %	100.0	95.0	75.6	
購入電力	消費量 kwh %	142,425.5 100.0	135,304.2 95.0	○
	排出量 %	53,836.8 100.0	51,145.0 95.0	
液化石油ガス LPGリフト用	消費量 kg %	645.0 100.0	612.8 95.0	○
	排出量 %	1,936.3 100.0	1,839.5 95.0	
ガソリン	消費量 L %	2,197.4 100.0	1,977.7 90.0	×
	排出量 %	5,101.6 100.0	4,591.4 90.0	
軽油	消費量 L %	19,694.0 100.0	18,709.3 95.0	×
	排出量 %	51,683.6 100.0	49,099.4 95.0	
残ガス燃焼	燃焼量 kg %	98,800.0 100.0	88,920.0 90.0	○
	排出量 %	29,659.4 100.0	26,693.5 90.0	

	評価	【コメント】
二酸化炭素排出量	○	全体として目標を達成した。今後は新たな削減項目の掘り起こし、及び削減活動の活性化に努力したい。
購入電力	○	検査容器の減少により、消費電力が減じた。節電意識と行動も習慣化してきた。
液化石油ガス LPGリフト用	○	検査容器の減少により、消費量が減じた。節約意識と行動も習慣化してきた。
ガソリン	×	容器検査本数の減少により、営業活動に力を入れたため。
軽油	×	顧客数の増加による、走行距離の増加。
残ガス燃焼	○	検査容器内の残ガス量の減少。回収ガスの有効利用（発電・冷暖房）により、単純焼却が減少した。

【短期環境目標と実績・評価】

平成19年度

平成19年

容器検査部

② 廃棄物排出量 (目標設定は平成18年実績を基準=100%とする)

項目		平成18年度 実績	平成19年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
単純焼却	t	4.20	3.99	4.38	×
廃棄物	%	100.0	95.0	104.3	

* 単純焼却の廃棄物は、工場から出る塗料カス(産廃)

	評価	【コメント】
単純焼却 廃棄物	×	大掃除を実施し 塗料かすが まとめて出たため。

③ 総水使用量 (目標設定は平成18年実績を基準=100%とする)

項目		平成18年度 実績	平成19年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
地下水使用量	m ³	6,866.0	6,522.7	4,145.0	○
	%	100.0	95.0	60.4	

	評価	【コメント】
地下水使用量	○	検査容器の減少により、使用量が減じた。節約意識と行動も習慣化してきた。

【短期環境目標と実績・評価】

平成19年度

工事部(社外作業)

① 二酸化炭素排出量 (目標設定は平成18年実績を基準=100%とする)

項目		平成18年度 実績	平成19年度		評価 (達成○・不可×)
			目標	実績	
二酸化炭素排出量		56,539.4	53,712.4	51,128.7	○
kg-CO2	%	100.0	95.0	90.4	
ガソリン	消費量 L	8,132.0	7,318.8	4,355.1	○
	%	100.0	90.0	53.6	
	排出量	18,879.8	16,991.8	10,111.2	
	%	100.0	90.0	53.6	
軽油	消費量 L	14,215.3	13,504.5	15,399.9	×
	%	100.0	95.0	108.3	
	排出量	37,305.7	35,440.4	40,414.5	
	%	100.0	95.0	108.3	

	評価	【コメント】
二酸化炭素排出量	○	エコ運転の実施。走行距離と使用燃料の確認作業を実施し、意識を高めた。
ガソリン	○	エコ運転の実施。走行距離と使用燃料の確認作業を実施し、意識を高めた。営業にはLP車を利用するよう努めた。
軽油	×	営業圏が拡大し、北関東・北陸地方の仕事も増えたため、燃料消費量が増えた。

【短期環境目標と実績・評価】

平成19年度

事務所

① 二酸化炭素排出量（目標設定は平成18年実績を基準＝100%とする）

項目	平成18年度 実績	平成19年度		評価 (達成○・不可×)
		目標	実績	
二酸化炭素排出量 kg-CO2 %	122,317.2 100.0	116,201.4 95.0	122,298.3 100.0	×
購入電力	消費量 kwh %	1,765.5 100.0	1,677.2 95.0	×
	排出量 %	667.4 100.0	634.0 95.0	
液化石油ガス LPG車両用	消費量 kg %	909.2 100.0	1,727.5 190.0	×
	排出量 %	2,729.4 100.0	5,185.9 190.0	

	評価	【コメント】
二酸化炭素排出量	×	LPG仕様車が1台から2台に増車した為、大幅に上回ってしまいました。
購入電力	×	主に事務所の電灯、パソコン、コピー機等の電気使用では、目標を達成できませんでした。今後、買い替えなどにあたっては、電力消費量の少ない製品を選ぶなどの、工夫をしたいと思います。
液化石油ガス LPG車両用	×	LPG仕様車が1台から2台に増車した為、大幅に上回ってしまいました。営業活動は出来るだけLPG車を使用したことで、増加したと思われる。

② 廃棄物排出量（目標設定は平成18年実績を基準＝100%とする）

項目	平成18年度 実績	平成19年度		評価 (達成○・不可×)
		目標	実績	
単純焼却 廃棄物	t %	0.54 100.0	0.24 44.4	○

	評価	【コメント】
単純焼却 廃棄物	○	紙類は分別し、古紙回収、重要書類はパルプメーカーへ直接持込み溶解処分にするなど、単純焼却を減らしました。

③ 総水使用量（目標設定は平成18年実績を基準＝100%とする）

項目	平成18年度 実績	平成19年度		評価 (達成○・不可×)
		目標	実績	
上水使用量	m ³ %	695.0 100.0	715.0 102.9	×

	評価	【コメント】
上水使用量	×	2008年4月に突然使用量が増加したため、漏水検査を実施したところ、漏水箇所が発見され 2008年7月修理をしました。漏水のため 目標をクリアすることが出来ませんでした。

【環境関連法規に係る遵守及び違反、訴訟等の状況】

当社に適用される環境関連法規への対応、遵守の状況は、次のとおりです。

法規名	要求事項と責任	備考	遵守
1 高圧ガス保安法	検査及び施工における技術基準	高圧ガス製造所	○
	保安検査	業者検査	○
2 消防法	危険物取り扱い	塗料保管	○
3 労働安全衛生法	有機溶剤中毒予防規則	塗装業務	○
	作業主任者、環境測定	業者委託	○
	健康診断	医療機関	○
4 PRTR法 *1)	化学物質の排出量届け	塗装業務	○
5 水質汚濁防止法	油分離槽設置、水質基準	容器水圧検査	○
6 浄化槽法	浄化槽使用届け、保守点検	業者委託契約	○
7 廃棄物処理及び 清掃に関する法	廃棄物処理契約	業者委託契約	○
	マニフェスト管理、契約書	業者委託	○
	産業廃棄物収集運搬業の許可	産業廃棄物収集運搬	○
8 騒音規制法	特定施設の届出	コンプレッサ	○
	第2種区域の規制の遵守		
9 振動規制法	特定施設の届出	コンプレッサ	○
	第1種区域の2の規制の遵守		
10 悪臭防止法	敷地境界における規制基準 (E地域)	排水、受水槽 油水分離層	○
11 粉じん特定施設	ショットブラスト集塵機	容器錆落とし	○
12 静岡県地下水取 に関する条例	第6条第1項 (第7条1項) 実績報告	揚水ポンプ	○
13 グリーン購入法	環境物品の購入 (努力目標)	事務、工事資材	○

平成21年3月1日 確認

環境関連法規の確認

当社の事業における関連法規について以上のとおりです。

なお、関連法規に係る義務、責任等の対応処理のなかで、特に、苦情、違反及び訴訟等について過去3年間を確認しました結果、苦情、違反及び訴訟等の発生は無かったことを報告いたします。

PRTR法 *1) 使用量が少ないので、行政の指導により今後は届けは中止することになりました。

【 代表者による評価と見直し 】

昨年 4 月にエコアクション 2 1 の認証を受け、低炭素化を目標に一企業として社会に貢献する意欲を持って社員一同で日々努力を重ねてきました。

又エコアクション 2 1 の認証を受けるに当たり、車両 1 台の燃料をガソリンから LP ガスにして、LP ガス車を増車し計 2 台とするなど、排気ガスによる炭素の低減を図る努力をしました。

廃棄物の分別では、日常の業務で排出されるゴミと営業活動にて排出される産業廃棄物の分別を徹底することを指針に掲げ、社員各自の自覚が出来て分別は当然のことと分別処理ができるようになりました。

省エネルギーの観点から、生産原価の見直しも月間のチェック機能が働き、水道水の漏水が発見できました。

以上の事柄は、以前では誰かがやるだろうと見過ごされたことが、エコアクション 2 1 の精神が社員に行渡った結果であると思います。

100 年に一度と言われる経済危機の中において、身近なところから経費の節減をしていかなければならず、このことを行うにはさらに 3R（リサイクル、リユース、リデュース）を進めるように教育と訓練をしていきます。

平成 21 年 3 月 1 日

不二高压株式会社

代表取締役社長 新井 二郎